

# 2010北東アジア経済発展国際会議イン新潟

2010 Northeast Asia International Conference for Economic Development in Niigata

2010年 1/25月▶26火

日英同時通訳 会場：朱鷺メッセ(新潟市)

主催 北東アジア経済発展国際会議実行委員会  
(新潟県、新潟市、ERINA)  
<http://nice.erina.or.jp>

## 《開催にあたって》

中国・ロシアなどの経済発展、そして世界金融危機を経て、世界の経済地図は大きく変わろうとしています。また、これからの人類の生活と地球環境を守るため、新しい枠組みの構築が図られています。本会議は、こうした地球社会の転換点にあって、その鍵を握る地域として、北東アジアの環境・エネルギー、物流、食料産業クラスター、金融危機後の経済潮流を探り、新潟から世界に課題と展望を発信します。どうぞご参加ください。

1月25日 月

開会・特別講演・基調講演  
《4階マリンホール》 15:00~18:00

### 基調講演

「世界金融危機と北東アジア」

河合正弘 (アジア開発銀行研究所 (ADB) 所長)

「ポスト京都議定書と北東アジア」

ピーター・ペムブレトン (Climate Business Network (CBNet) 代表)

### 交流会

《ホテル日航新潟 30階鳳凰》 18:30~20:00

1月26日 火

### 分科会 A

《中会議室301》

### 分科会 B

《中会議室302》

### 分科会 C

《中会議室301》

### 分科会 D

《中会議室302》

9:00 ~ 12:00

13:30 ~ 16:30

### 北東アジア シームレス物流

北東アジア輸送回廊におけるシームレス物流の諸動向、課題を整理し、多国間協力による整備・促進策の提案を行う。

#### 基調報告

ナタリア・ヤチェイストワ  
(UNDP大図們江ロシアチフ事務局長)

ビスワ・パタチャリア  
(ADBI所長特別顧問)

#### 事例報告

池田明元  
(日本貨物鉄道  
ロジスティクス本部国際物流開発部長代理)

辻久子  
(ERINA調査研究部研究員)

### ポスト京都議定書時代の 環境・エネルギー協力

コペンハーゲンCOP15の結果を踏まえ、北東アジアにおけるこれからの環境協力、省エネルギー協力の道筋を展望する。

#### コーディネーター

寺西俊一  
(一橋大学大学院経済学研究科教授)

#### パネリスト

鄭爽  
(中国国家発展改革委員会エネルギー研究所副研究員)

A. エンフバット  
(モンゴル自然環境観光省クリーンテクノロジー・科学部長)

オ・テギユン  
(韓国エネルギー管理団  
排出削減登録センター・プロジェクトリーダー)

ディナラ・ゲルシンコワ  
(ロシア水理気象環境局気候変動課長)

田中弘  
(日本カーボンファイナンス特別顧問)

### 国際食料産業 クラスターと新潟

世界のクラスター事例、中国黒龍江省の事例などを参考に、新潟における国際食料産業クラスター形成の効果と課題を提起する。

#### 基調報告

ロジャー・ストウ  
(ジョージ・メイソン大学公共政策研究所教授)

矯江  
(黒龍江省農業科学院総農芸師)

#### 事例報告

李哉ヒョン  
(鹿児島大学農学部准教授)

阿久根優子  
(筑波大学生命環境科学研究所研究員)

木南莉莉  
(新潟大学農学部教授)

### 世界金融危機後の 北東アジア新潮流

世界金融危機後の北東アジア各国・地域の経済・金融状況や世界経済との関係を概観し、これからの経済の潮流を探る。

#### モデレーター

野崎茂  
(三菱商事顧問)

#### 報告者

柯隆  
(富士通総研経済研究所首席研究員)

金哲  
(遼寧社会科学院世界経済研究所副所長)

B. ツォルモン  
(モンゴル前ゾースバンク最高執行責任者)

高安雄一  
(筑波大学システム情報工学研究科准教授)

金野雄五  
(みずほ総合研究所政策調査部主任研究員)

### 総括・閉会

《中会議室201》

16:45~17:45

### 分科会報告・政策提言

(※敬称略。講師等は変更になる場合があります。)

### 参加方法

2010年1月15日(金)までに、裏面にご記入の上FAXにてお申し込みください。  
なお、定員になり次第、先着順により締め切らせていただきます。

●申込先 (株)第一印刷所(担当:近藤) TEL 025-241-3255 FAX 025-241-3257  
E-mail 2010nice@dip.co.jp URL: <http://nice.erina.or.jp>

参加費 入場無料 交流会費 6,000円 ※会議参加のみの場合は無料です。

事務局  
問合せ先

ERINA

〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1 万代島ビル13階  
TEL 025-290-5545 FAX 025-249-7550  
E-mail 2010nice@erina.or.jp



この印刷物は大豆油にかわり米ぬか油を使用したライシンキで印刷しています。

このチラシの印刷時に排出されるCO<sub>2</sub>を100%カーボン・オフセットしています。  
1枚あたり1円が佐渡市の「トキの森」整備に提供されます。

FAXでのお申し込みは、この申込書にご記入の上、**1月15日(金)**までにお送りください。

株式会社第一印刷所「2010北東アジア経済発展国際会議イン新潟」係 近藤行 FAX:(025)241-3257

# 2010 北東アジア経済発展国際会議イン新潟 参加申込書

●お申込日 年 月 日

団体名	(日本語)		
	(英語)		
所属部署 役職	(日本語)		
氏名	(フリガナ)姓	名	
	(漢字)姓	名	
	(英語)姓	名	
ご連絡先 住所	〒 —		
T E L	—	—	F A X — —
E-mail			

※複数名の参加申込は、恐縮ですがこの申込書をコピーして、各々ご記入の上お送りください。

参加申込書を受領後、株式会社第一印刷所より「参加受付表」をFAXもしくはE-mailでお送りします。これをもって受付完了とさせていただきます。

●参加ご希望のプログラムに○印をご記入ください。会場設営などの参考にさせていただきます。

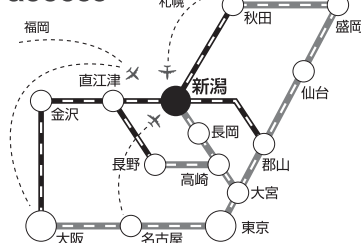
月日	時間	プログラム	○印
1/25(月)	15:00~18:00	開会・特別講演・基調講演	
	18:30~20:00	交流会 立食buffet @6,000円	
1/26(火)	09:00~12:00	分科会A 北東アジア・シームレス物流	
	09:00~12:00	分科会B ポスト京都議定書時代の環境・エネルギー協力	
	13:30~16:30	分科会C 国際食料産業クラスターと新潟	
	13:30~16:30	分科会D 世界金融危機後の北東アジア新潮流	
	16:45~17:45	総括・閉会 分科会報告・政策提言	

1月27日(水)には関連行事およびエクスカージョンを予定しております。詳細はそれぞれの別紙資料をご参照ください。

※交流会は有料ですが、会議参加のみの場合は無料です。

※ご記入いただいた個人情報は、名札の作成、会議報告書・次回会議のご案内の送付以外の目的では使用いたしません。

## access



### ●新潟市へのアクセス

- 新幹線 東京から…約1時間40分~2時間20分  
新大阪から…約5時間30分
- 飛行機 名古屋から…約1時間  
大阪(伊丹)から…約1時間  
福岡から…約1時間30分  
札幌(新千歳)から…約1時間15分

### ●朱鷺メッセへのアクセス ※駐車場は有料となります。

- 新潟駅から タクシー…約5分  
バス…約10分  
徒歩…約20分
- 新潟空港から タクシー…約25分



■会場/朱鷺メッセ  
(新潟コンベンションセンター)  
新潟市中央区万代島6-1  
TEL. 025-246-8400